

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8231
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	医療給付
事務事業名	重度障害者医療費助成事業		事業コード	11410

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第4節	援護をようする人の自立援助	~63 年度
施策名	第1施策	生活の安定	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市医療費助成条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
重度障害者の健康保持と生活の安定を図るため、医療費の一部を助成し、もって、福祉の増進に寄与することを目的とする。		・身体障害者手帳1・2級 ・IQ35以下 ・3級かつIQ50以下	
		対象数	5,929
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・事業概要：医療保険各法の一部負担金を助成する。 ・決算(千円) 報償費 22,494 役務費9,714 需用費 293 委託料56 扶助費796,578 合計 829,135		(なし)	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名(なし)	
		計画年次 年度~ 年度	

4 評価指標

指標名	一人あたり受診件数		
指標式	年間受診件数 ÷ 医療証交付者数		
指標設定の意図	健康増進事業の普及等により、罹患率低下の一つの目安とする。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	19.5	20.6	a 22.8	b 20.6	20.6	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	714,928	727,830	829,135	838,660	917,936
	人員・時間数	3人	3人	3人	3人	3人
	人件費	18,230	18,230	18,230	18,230	18,230
	その他経費					
	合計	733,158	746,060	847,365	856,890	936,166
特定財源	437,005	481,474	501,380	507,123	558,193	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 110.7%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{22.8}{20.6} \times 100 = 110.7\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	可能な機会を捕らえてPRを行い、健康増進に努めているが、必要な受診を抑制するものではない。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	障害者の健康保持と生活の安定のため必要な制度である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	特に所得制限を設けておらず、高所得の重度障害者にも助成している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	この事業は条例に基づく市の事業であり、代替性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	精神障害者へ対象者を拡大して欲しいとの要望が寄せられることがある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	本事業により安心して医療にかかれる機会が広がり、障害者の自立支援と社会参加に寄与している。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 県下各市の状況、一部負担金や財政状況を勘案しながら、所得制限の導入、対象者の拡大について研究する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 担当職員数も最小限度であり、事業の電算システムかも進めており、これ以上改善の余地はない。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県の補助制度のもと県下各市町村ともほぼ同様な事業内容であるが、精神障害者への助成について鎌倉市はすでに事業化しており、茅ヶ崎・藤沢両市も平成14年度から事業化する。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	重度障害者の健康保持と生活の安定に寄与しているが、県補助率が削減されていく中、一部負担金や所得制限導入など制度のあり方について県下各市と協調しながら研究してゆく必要がある。また、対象者の拡大について研究していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--